

# 被災地支援の 新たなとりくみ



「僕らは負けないぞ」—震災と被災者の思いを歌う矢口さん

## ガレキ撤去から 地域の再建へ

東日本大震災発生から  
今度の3月で丸2年。被災地では復興のツチ音が  
強められていますが、ま  
だまだ支援が必要です。  
私たちにもできること  
は何か、支援の新たなあ  
り方が模索されていま  
す。こうしたなか、労山  
千葉県連と復興支援の母  
体として立ちあげた「N  
PO法人ちば労山ゆう」  
はユニークな取り組みを  
行っています。

11月23〜25日には、バ  
ス1台30名で宮城県牡鹿  
半島の漁村に入り、漁業  
支援の活動に取り組みま  
した。その様子の一端を  
「ちばニュース」12月号  
から紹介します。  
『今回の作業は、ホヤ  
の種付けに使用する力キ  
貝殻の処理だった。  
(注：ホヤの幼生は力キ  
殻にくくりつけ海中に沈  
めて養殖される)』  
今までは1年以上雨ざ  
らしにされ、匂いのない  
乾燥された殻を使用して  
いたが、そのような殻は  
底をつき、今回使用した  
のは2〜3週間前に海か  
ら水揚げされたばかりで  
力キの汁が腐敗し、異様  
な匂いを発していた。

あるお宅では、力キ殻  
を小分けの小山にして空  
気と日光に曝して、ボラ  
ンティアたちの作業がし  
やすい環境にしてくれて  
いた。一緒に作業してい  
た地元的女性は、「毎日  
ここで作業していたら臭  
く感じないのよ。マスク  
にも匂いがみついても

るから、外していれば匂  
わないわ」。女性の逞し  
さを教えられました』

千葉県連は、11月29日  
事前に販売してでした  
(木)夜にも、千葉県船  
橋市のホールで、「石巻  
支援の夕べ」を開催しま  
した。千円の手ケットを  
被災地の映像を流しながら

### 個人会員制

## ROUSANパートナーズ 9月より本格稼働

山ガール・ネットのホームページに掲載したバナー広告(右側)

日本勤労者山岳連盟が  
導入した個人会員制  
「ROUSAN・パート  
ナーズ」が昨年9月1日  
から会員募集を開始しま  
した。あわせて、専用ホ  
ームページ「ヤマトモ」  
と、山行管理システム  
「安全登山サポートシス  
テム」も稼働しました。  
また、会員数は少数に  
とどまっていますが、す  
こしずつ増えてきていま  
す。

この間、全国連盟はい  
ろいろと試行錯誤しながら  
も、宣伝の輪をひろげ  
ています。まず、東京近  
郊で人気の高い高尾山の  
登山口でリーフレット配  
布を数回にわたって実  
施。首都圏の登山用品店  
にもポスターとリーフの  
設置をお願いしました。  
「岳人」の12月号の情報  
コーナーにも、労山が始  
めた新たな取り組みとし  
て紹介されました。特  
に「岳人」は1ページをこ  
れに割いてくれていま  
す。



「ヤマトモROUSAN」で検索

外部からも高い関心  
まずは「ヤマトモ」を  
のぞいてみよう

こうしたなかで、山  
岳関係者からも、「R  
OUSAN・パートナ  
ーズ」を高く評価する  
声が増えるようになって  
きました。12月に  
開催された労山全国連盟  
の「望年会」では、外部  
参加者のなかから、「私  
も個人会員になってみた  
い」個人登山者はきちん  
と山行計画書を作らな  
い

また12月からは、イン  
ターネットの情報サイト  
「山ガールネット」に  
有料のバナー広告(主画  
面の左右に出す広告)上  
図(参照)を掲載してい  
ます(とりあえず、5月  
までの予定。この情報サ  
イトは「山とアウトドア

ファッションを愛する女  
子のための情報サイト」  
と銘打つものです。  
若者に人気のあるアウ  
トドア関係の雑誌にも、  
多く利用する登山口の駅  
にもポスター広告を出す  
予定で、手始めに、東京  
の京王線・高尾山口駅に  
1月から張り出します。  
若者に人気のあるアウ  
トドア関係の雑誌にも、  
多く利用する登山口の駅  
にもポスター広告を出す  
予定で、手始めに、東京  
の京王線・高尾山口駅に  
1月から張り出します。

まずは、個人会員専  
用のホームページ「ヤマ  
トモ」をのぞいてみてく  
ださい。「ヤマトモ」で検  
索して出てこない場合  
は、うしろに「ROUS  
AN」をつけるか、労山  
全国連盟ホームページか  
ら開いてください。「安  
全登山サポートシステ  
ム」も自分で使ってみて  
ください。その上で、  
周囲にいる登山愛好者に  
声をかけてください。ご  
協力をよろしく願いま  
す。



活動を伝える千葉県連ニュース



東京・高尾山口駅で個人会員制の宣伝活動

ことが多いが、このシス  
テムは遭難防止に役に立  
つ」などの声があいつぎ  
ました。  
しかし、何といっても  
全国各地にいる労山会員  
の皆さんが、周囲の山岳  
会未加入登山者に呼びか  
けていただくのが、いち  
ばん効果が大きいので  
す。全国連盟に会員登録  
をしている労山会員なら  
だれでも、「ヤマトモ」に  
も登録して、「安全登山  
サポートシステム」を実  
際に体験することができます。



日本勤労者山岳連盟  
Japan Workers' Alpine Federation  
〒162-0814  
東京都新宿区新小川町5番24号  
TEL 03(3260)6331(代)  
FAX 03(3235)4324(代)  
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は  
フリーダイヤル  
0120-44-2742  
(平日10時~18時)  
E-mail: jwaf@jwaf.jp



### 震災被災地 復興支援活動 (2012年4月~11月)

東日本大震災から丸1年が経過したあとも、被災地に対する全国の登山からの支援活動が継続されています。以下には、石巻勤労者山岳会が把握したもの、および千葉県連からの報告を掲載しましたが、この他にも各地方連盟、各会で独自に支援活動を行ったところもあると思います。

#### ★宮城県石巻地区

月	パーティー数	内県連主催	山岳会数	参加者数	延べ参加者数(作業日数)			宿泊(センター)		
					同県外	同県内	合計	作業日数	日数	人数
4月	5	2	14	53	120	6	126	10	11	134
5月	7	4	21	66	124	21	145	9	5	105
6月	10	5	45	143	263	5	268	17	13	211
7月	6	3	25	74	106	4	110	4	3	68
8月	2	2	5	13	20	4	24	3	4	27
9月	4	3	24	99	117	7	124	4	5	206
10月	5	3	4	63	139	5	144	8	6	86
11月	5	3	24	73	147	5	152	5	3	87
合計	44	25	162	584	1036	57	1093	60	50	924

※宿泊は水沼東部構造改善センターを中心に、一部は現地です。

#### 主な支援場所・支援作業等

- ①石巻地方での支援作業は、津波の直接被害によるガレキ撤去作業から、徐々に集落や個人の依頼による支援活動に移ってきている。具体的には道路、山麓、溪流、山林、墓地等のガレキ・土砂の除去、修復・清掃活動、農業用水道施設・山道補修整備、ハイキング道・園地刈り払い作業等
- ②主な作業場所は牡鹿地区、稲井水沼地区、東松島野蒜地区
- ③支援作業をより円滑に行うため、石巻市、東松島市、石巻ボランティアセンター、牡鹿ボランティアセンターと連携し、受け入れ態勢を整えた。

#### ★「NPO法人ちば登山ゆう」の取り組み

月	日程	場所	参加会数	参加者数	活動内容
4月	4/27(夜)~30	石巻(牡鹿)	10会+一般	29	のり面のガレキ撤去
5月	5/11(夜)~13	石巻(水沼)	3会+一般	4	農地の手入れ等
6月	6/15(夜)~17	石巻(牡鹿)	9会+一般	34	宅地のガレキ撤去
7月	7/13(夜)~16	石巻(牡鹿)	7会+一般	19	ホヤ種付けの準備作業
8月	8/16(夜)~19	南相馬(小高)	6会	7	個人宅の片づけ、田畑の草刈り
9月	9/14(夜)~17	石巻(牡鹿)	6会+一般	23	ホヤ種付けの準備作業
10月	10/5(夜)~8	石巻(牡鹿)	5会+一般	19	〃
11月	11/22(夜)~25	石巻(牡鹿)	6会+一般	30	〃
合計				165	



北海道の山の魅力を語る市根井さんの記念講演

## 2日間で175名が参加 第41回北海道登山研究集会

労山外からも40名

「この研究集会は、北海道の登山文化発展に少なからず寄与してきた。今年も活発な議論を期待したい」と今回41回目となる北海道登山研究集会が11月10日、11日に札幌市で開催され、安田・北海道連盟会長のこうしたあいさつで始まりました。

主催したのは労山北海道連盟。2月の代表者会議で開催を決定、教育部を中心に各会からの実行委員で4月から毎月会議を開き、準備をしてきました。

会場は道庁が建設、独立

行政法人が運営する「かでの27」で、会議室がたくさんあり、このような行事開催に適しています。

参加者は2日間で175名を数え、うち40名は労山外からの一般参加です。外部参加者が多いのは、他団体から参加しやすい風土が作られてきたからです。かつては「道岳連」会長が参加したこともありますが、今回は、道内で一番購読者が多い「北海道新聞」にも案内が掲載されました。また、記念講演をいただいた市根井孝悦さん(写真家)

翌日は朝から夕方まで、4つの分科会に分かれて討議をすすめました。各分科会のテーマと参加者数は次のとおりです。

●4分科会で熱心に

「安全な登山をしたい」と考える人の関心にマッチしたと思われる。

記念講演は、市根井さんに「北海道の山に魅せられて」と題して話していただきました。その中で「仲間が大雪山で遭難し、彼のが心が糧となって、40年間大雪山の写真を撮り続けてきた。これからも、母の懐に抱かれ、癒しとな

「安全な登山をしたい」と考える人の関心にマッチしたと思われる。

記念講演は、市根井さんに「北海道の山に魅せられて」と題して話していただきました。その中で「仲間が大雪山で遭難し、彼のが心が糧となって、40年間大雪山の写真を撮り続けてきた。これからも、母の懐に抱かれ、癒しとな

このうち、最大の第二分科会では、冒頭に船木医師から「実例から学ぶ低体温症」の基調講演をいただきました。トムラウシでの大量遭難事故以降も道内では、中高齢者の遭難、低体温症の事故が続いています。船木医師は、「高齢者は寒さに反応が鈍い。熱産生も不十分で低体温症になりやすい。4つのシグナル(震え・ふるつき・むむけ・口こもり)に注意し、初期の段階で対処しよう」と強調していました。

## 自然エネルギーの大幅活用を 大阪で全国登山者自然保護集会

15都道府県から  
200人が参加

「豊かな山岳環境のなかで、将来にわたって楽しい登山を続けていくために、登山者はどうすべきか」

―登山者が主催した第16回全国登山者自然保護集会が、11月17日、18日に大阪府・高槻市で開催されました。

この集会は2年に1回開かれていた。今回は大阪府連盟の主管でとりくまれ、全国15都道府県から200名が参加しました。

基調報告をおこなった浦添(うらぞえ)自然保護委員長は、登山者が山岳自然と共生していくことの重要性をあらためて強調し、労山の「自然保護憲章」がそのバックボーンとなっていることを述べました。さらに今日、従来の課題をこえ



分科会で討議を深める

て、新たな問題が広がっていることになりました。具体的には、地球温暖化による自然エネルギーの大幅導入を提言。特に、世界的に最も評価されているのは風力発電で、潜在エネルギー量、技術的安定性、価格面で優れていると述べました。

これに対する質疑で、参加者から山頂への風力発電問題は、地球温暖化による自然エネルギーの大幅導入を提言。特に、世界的に最も評価されているのは風力発電で、潜在エネルギー量、技術的安定性、価格面で優れていると述べました。

### 深刻になるシカの食害 原発ゼロアピールも採択

基調講演は、「大気環境問題とエネルギー源の選置は自然や景観の破壊に」をテーマに、兵庫県立大学教授の河野仁さんにお話ししました。河野さんは「シカ食害も配慮すべきだ」と述べました。

そのなかでは、専門分野

2日目は、4つの分科会に分かれて討議をすすめました。特にニホンシカによる食害が各地で深刻となっていることをめぐって、論議が活発に行われました。すでに四国では害獣ともいわれているシカに深刻な状況であることが報告されています。今後、この問題の解決にむけてどうすべきか、い



浦添自然保護委員長の基調報告

集会は最後に、兵庫の村上さんの提案をうけ、「原発ゼロの日本を求めるアピール」(2011年12月に全国連盟理事会で採択された文書)を本集会の宣言として採択し、閉会しました。



### 山岳5団体が イベント開催

日本全国にはたくさんの山があり、国民に親しまれているのだから、「山の日」を祝日として制定させよう―― 山岳5団体は協力して、この運動にとりかかっています。

その動きを促進するためのイベント「山の日」ネットワーキング東京会議」が、10月3日午後1時から6時まで開かれました。

山岳5団体とは、登山のほかに日本山岳会、日本山岳協、日本山岳ガイド協会、HAT・Jで、2010年4月に「山の日」制定協議会」を結成しています。この日の会場である国立オリンピック青少年センター（東京・代々木）のホールは、山岳団体や自治体の関係者、国会議員、環境省や文部科学省職員、山小屋経営者など、約1000人の参加者でほぼ満席となりました。



夜の懇親会では登山の西本会長が乾杯の音頭をとった

## 「山の日」の制定を 長野県知事も応援

した。登山からも西本会長、斉藤理事長、川嶋事務局長、浦添・石川副理事長の5名が出席しました。

催しは、各界からのあいさつや報告、特別講演、2つのテーマでのシンポジウムなど、盛りだくさんでした。

あいさつでは、谷垣禎一・前自民党総裁（日本山岳ガイド協会会長）、丸川珠代・参議院議員の二人の国会議員のほか、長野県からも阿部守一知事が駆けつけ、星野一昭・環境省審議官からも「山の日」への期待が発言されました。

報告では、すでに31府県および6市町で山や森に関する日や月間が制定されていると報告され、かなり「山の日」が普及していることがわかりました。ただ、統一性がなく、自治体ごとにバラバラです。

しかし、国会での議決にこぎつけるにはもっと運動の強化が必要です。このため、最終目標は祝日化しつつも、当面は6月の第一日曜日を国民的「山の日」に定めることを目標とすることになりました。

また、その夜の懇親会では、登山の西本会長が乾杯の音頭、川嶋事務局長が司会をつとめ、なごやかに進めました。



「山の日」をぜひ実現したいとあいさつする長野県の阿部知事

## 原発ゼロめざして 注目される登山の取り組み

ちは、豊かな日本の自然を次世代に残していくために、「原発ゼロの日本」をめざしています。

この立場から、登山は、2012年7月16日に東京・代々木公園で17万人が参加した大集会や、11月11日の国会・霞が関周辺の「さようなら原発」大行動にも広く参加を呼びかけてきました。

また、その11月11日には新聞4紙（朝日、東京、福島民報、福島民友）への「原発の即時廃止」を求める意見広告にも賛同金を支出しました。

登山道の安全性を確認するための放射線量測定も、地方連盟の皆さんの力をかりて、継続して取り組んでいます。

その結果を放射線学の専門家である野口邦和・日大准教授に分析を依頼し、1冊のブックレットとして発売しました。「放射線と登山道」野口邦和監修、日本勤労者山岳連盟編集、桐書房（税込630円）がそれです。この本は登山界から未曽有の大災害をもたらした原発事故は、二度と起こしてはなりません。私たちが



東京の書店に並ぶ「放射線と登山道」



福島登高会ホームページに掲載された福島県内の山の地図。放射線量測定結果が見られる。

登山道の安全性を確認するための放射線量測定も、地方連盟の皆さんの力をかりて、継続して取り組んでいます。また、一般書店の店頭や、AMAZONなどネット販売でも注文できます。登山会員には税込630円のところ、特別価格で500円（送料込）でそれぞれの山にポイントをつけています。また、一般書店の店頭や、AMAZONなどネット販売でも注文できます。登山会員には税込630円のところ、特別価格で500円（送料込）でそれぞれの山にポイントをつけています。また、一般書店の店頭や、AMAZONなどネット販売でも注文できます。登山会員には税込630円のところ、特別価格で500円（送料込）でそれぞれの山にポイントをつけています。

## 米軍輸送機 オスプレイ 山岳地帯での飛行訓練やめよ 登山が環境省に要請

米軍輸送機 オスプレイ

日本勤労者山岳連盟は、米政府により沖縄に配備されたオスプレイの低空飛行訓練の強行された米軍輸送機オスプレイに関して、本土の山岳地帯でも低空飛行訓練を行う予定であることに対して、環境省に10月3日付で以下の要請文を送付しました。

米軍輸送機オスプレイの沖縄県普天間基地に配備に対し、県下の全市町村の首長・県議会が反対し、宮野湾市で9月9日に開かれた「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」に10万1千人もの県民が参加

米軍輸送機オスプレイの沖縄県普天間基地に配備に対し、県下の全市町村の首長・県議会が反対し、宮野湾市で9月9日に開かれた「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」に10万1千人もの県民が参加

「高尾山」奥多摩東部に続き、人気の「登山詳細図」シリーズ首都圏版第三弾が発売されました。大縮尺で見やすく、実地踏査を踏まえエリア



人気の登山地図シリーズ  
東丹沢編 発売される  
ヒル情報も記載

●サイズ 685mm x 1000mm 両面カラー 地図用折れない、破れない紙使用  
●鍋割山・仏果山、小田急線・国道413号の範囲の全登山道を記載。整備された道、荒れているコース、道標がないルートなどを色分け、さらにA、B、Cのグレードで表示。また最近問題の山ヒルの度合いも記載。  
●定価900円のところ、登山会員特価800円（送料込） 注文は事務局03（3260）6331へ



と、などが規定されており、日本政府として、自然環境保全法で定められた重要な自然保護地域の上空の飛行訓練ルートには反対すべきである。

### ●要請事項

1. オスプレイの騒音や風圧などの影響は甚大であり、絶滅危惧種はさらなる絶命への危機に追いやられることになり、生物多様性にも大きな影響を及ぼすこととなることから、計画の中止を米政府及び米軍に要請すること。

2. 低空の飛行訓練が人口密集地や自然公園地域で実施されることは、地域住民や自然公園を訪れる国民、登山者の生命の安全も脅かされることとなるので、アメリカ政府及び米軍に飛行訓練の中止を要請すること。





# 4コママンガ オギちゃん

1冊 1,000円

ドジで楽天的な主人公

モデルは登山会員

人気マンガ「フウフウ ハアハア」を「登山時報」に連載中の村松孝一さん（労山福島県連理理事長）が、以前に描いたマンガが1冊の本になりました。新日本スポーツ連盟の機関誌「スポーツのひろば」に101回にわたって連載された「オギちゃん」です。

村松さんは当時、仙台まで毎日通勤して仙台山歩会に所属していました。その時、会報に描いていたマンガが縁で「スポーツのひろば」の連載が始まりました。実在の登山会員をモデルにした主人公「オギちゃん」のドジで楽天的なキャラクターが実に楽しい。登山会員は必読。自費出版のため、注文は全国連盟事務局まで（送料込 1冊1000円）



神室山(かむろさん) 1365mを行く

## 東日本女性登山交流集会

## 山形県最上町

# 東北の仲間たちが大奮闘

東日本女性登山交流集会「さくらんぼ集会」が10月13日（土）～14日（日）に山形県・最上（もがみ）町で開かれました。最上町は新庄市の東にある人口わずか9,900人の小さな町。ここに東日本各都県から約200名の女性たちが押し掛けたのです。後援団体には山形県・最上町観光協会／朝日新聞山形支局／毎日新聞山形支局／読売新聞山形支局／河北新報社／山形新聞／山形放送／NHK山形放送局が名をならね、会場では最上町長が歓迎あいさつを行いました。



最上町は宮城県から山形県に超える途中の盆地の町だ

山形県最上町の山形県に超える途中の盆地の町だ。会場では最上町長が歓迎あいさつを行いました。最上町は新庄市の東にある人口わずか9,900人の小さな町。ここに東日本各都県から約200名の女性たちが押し掛けたのです。後援団体には山形県・最上町観光協会／朝日新聞山形支局／毎日新聞山形支局／読売新聞山形支局／河北新報社／山形新聞／山形放送／NHK山形放送局が名をならね、会場では最上町長が歓迎あいさつを行いました。



大勢でにぎやかな夕食交流会

ご協力をいただきました。みや、実行委員会も大いにこうしたなか、青森、岩手、宮城、福島の東北各県参加者は80名を数え、集会にかけるその熱意と意気込

のバイオリン演奏。ついで、日本登山医学会理事の野口いづみ医師による「病氣と怪我の経験例から学ぶ安全登山」の講演。そして「神室山系の自然を守る会」の高桑純一氏が神室山と最上の魅力を語り、最後は石田先生による山筋ゴーパー体操の指導。夕食交流会は歌あり踊りありで、にぎやかでした。

●ナマステ・メールニュース登録のお願い  
全国連盟メディア局は、登山活動の最新ニュースを「ナマステ・メールニュース」として月1回程度、登録された皆さんに配信しています。ご希望される方は、jwat@jwat.jpまで氏名、メールアドレス、所属会、登山会員番号をお知らせください。（メディア局あてと記入してください）。

## 山筋ゴーパー体操は大切

## 生みの親

## 石田良恵さんに聞く

女性委員会が編集発行したパンフレット「山筋（やまぎん）ゴーパー体操へまきん）ゴーパー体操へまきん）ゴーパー体操へまきん）の注文が、全国各地から届いていきます。その監修を

女性委員会が編集発行したパンフレット「山筋（やまぎん）ゴーパー体操へまきん）ゴーパー体操へまきん）の注文が、全国各地から届いていきます。その監修を

1942年生まれですが、とても若々しく、実年齢を聞いてびっくり。スポーツウーマンでマスターズ陸上では100mを走っていましたが、最近はずつかり山登りにハマっているようです。その石田さんに聞きました。

以前は、山の人達に対して首からタオルをかけファッションにあまり気を遣わず、これは嫌だと勝手に思っていました。山登りの魅力にひきこまれました。山の会にも入会し、地方での登山の仕事の後は一緒に山に登っています。ついにこの夏は、念願の槍ヶ岳頂上に登りました。もしも、私も



なぜ、山登りに筋力トレーニングが大切なのか、山に登ったら、無事に家まで帰ってこなければなりません。でも体力は加齢とともに、自分で自覚する以上に、衰えていきます。高

「登山時報」を購読しよう  
石田良恵「やまの身体を考える」  
1月号から新連載

1月号から新連載